



さくら 2005 春

発行
社会福祉法人 東桜会
第 6 号
〒420-0962
静岡県葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

新しい職員の紹介

私は保育園で働いていました。「明るく 楽しく 元気に」が大切と思っています。いつか、保育園での経験とこれからの経験を生かして、子供とみなさんとの橋渡しが出来たら・・・と思っています。いつでも相手の気持ちを考え、みなさんが笑顔を見せてくれるよう、一生懸命働きますのでよろしくお願いいたします。

麻機園 寮母 齋藤千晴



私は短大で介護の楽しさや自立を援助することの大切さを学びました。知識とこれからの経験を通して利用者に充実した生活を過ごしていただけるよう、初心を忘れずに努力していきたいです。

麻機園 寮母 村松翔一

新人研修で「大変な事も続けることで癖になる」という言葉が印象に残りました。難しいことであると思いますが良い癖がたくさん身に付くように努力していきたいです。そして早く現場に慣れ、多くの利用者に関わることで自分自身が成長していけたらと思っています。同時に社会人として自覚を持って頑張ります。

麻機園 寮母 小澤ちひろ



私は、多くの方が共に生活する施設においても、利用者の意思を尊重し、みなさんに自分らしく生活して頂けるよう援助していきたいと思っています。

麻機園 寮母 鈴木理絵

私が一番大切にしたいと思うことは、利用者の方からお話があった時はできるだけその時に対応したいということです。もし「後で」と待っていただくことがあっても、後で必ずお話を聴くようにします。初めての仕事で覚えなければならないことがたくさんあるので、注意を払っていきたいです。

有永グループホーム 介護職員 望月優美



笑顔に支えられ

麻機園 寮母長 長島鈴江

「寮母長、これ見て下さい」「寮母長、〇〇さんが呼んでいます」「寮母長、お話があるのですが・・・」一日が終わり、ふと考える。今日、私はどんな仕事をしたのだろうか？雑務ばかり・・・まるで「なんでも屋？」介護の現場にしながら直接利用者に関われない日も多い。

一寮母の頃は、体は大変だったが毎日充実していた。寮母長と呼ばれ、現場全般、人事にも関わるようになった今、体は楽だが気が休まる暇がない。辞めたいと思った事もある。しかし、それを止めるものがある。それは利用者の笑顔。「ありがとう」「大変だね、ご苦労様」と微笑みかけてくれる。

失礼かもしれないがとてもかわいい、疲れを忘れる瞬間です。だからこそ 12 年間頑張ってきたのです。

もうひとつは仲間。麻機園の寮母は明るいと言われます。この明るい寮母にも悩まされ、額にしわの寄る日々・・・しかし皆がんばり屋で、仲がよく、そして笑い声が絶えない。寮母が笑顔なら利用者も笑顔でいてくれる、私はそうと思っています。多くの笑顔に支えられて、これからも私は寮母長という名の「なんでも屋」として頑張ります。



縁の下の力持ち

- 麻機園 パート寮母 榎本知子 -

私は人を喜ばす事が大好きです。夫を亡くし、何をしたいのかわからなかった時期、喜ばれる仕事をしたいと思い、東桜会でパート職員として働き始めました。最初はケアハウス桜花の厨房で調理の仕事をしていましたが、麻機園寮母へ異動になり6年になります。「自分に出来るか？」と不安な気持ちでしたが、利用者みなさんに笑顔のない時、私がする事に笑ってくれる・・・そういう時をうれしく感じています。

寮母の仕事はオムツ交換、食事介助とたくさんありますが、一番大切な事は「声かけ、笑顔」だと思います。自分がレクレーションの担当になった時は、みなさんに楽しい一日を過ごしてもらいたいと着物を着て踊りを披露したり、サルの着ぐるみ等の変装をして一緒に歌ったりしています。

大変な事もあるけれど、みなさんの喜ぶ顔を励みにこれからも頑張っ



出会いと別れ

- ケアハウス桜花 寮母 藤浪静枝 -

ケアハウス桜花に異動して6年。新しく入居される方との出会いはいつも楽しみです。早くケアハウスでの生活に慣れて頂きたくて、ちょっとしたことでも話しかけています。初めは緊張していたお顔から笑みが出るとホッと安心、嬉しくなります。でも・・・別れの時もあるのです。

ご利用者の努力やご家族の協力にもかかわらず介護が必要になったときは、他の施設を紹介させていただくことがあります。「ここが家だよ。他には行きたくないよ。ここに置いてくりょうやあ」と言われたAさん、引越される時のBさんCさんの寂しそうな顔は忘れることが出来ません。高齢になってからの転居はとも心の負担になると思います。でも、残念ながら桜花は「終の住み家」になかなか出来ません。

桜花では年2回のバス旅行、花見ドライブ、買い物ツアー、喫茶、また茶道、書道などのクラブも行っています。自然に恵まれた環境の中で一日一日を楽しく、そして生きがいを作ってほしいと思っています。

「あなたがいるから私はここに安心していられる」という忘れられない言葉があります。励まされ、そして自分自身を反省できる言葉です。



祝！開園記念日

4月1日は東桜会の誕生日です

暖かな陽射しに庭の桜のつぼみもほころび、今年も5人の仲間を加え、麻機園は18年目の春を迎えることができました。新人職員が緊張した面持ちで自己紹介をすると「よろしくね！」と利用者から拍手と笑顔で歓迎を受けました。乾杯のビールも進み、寿司職人が腕を振るった握り寿司をほおぼって、お祝いの膳が華やかな春色につつまれました。



ベテラン？

麻機園寮母 小松 忍

麻機園に入社して十二年が経った。ずっと麻機園一筋だ。自分でも感心する(笑)。ここまでこれたのは自分ひとりの力ではない。職場の仲間にも恵まれた。そして何より入所している皆さんのおかげと感謝している。

高校を卒業するまで、福祉とは無縁で、右も左もわからない素人だった私。利用者の顔と名前を覚えるのに精一杯だったあの頃を思い出す。

Aさんに食事をとっていただくため、車椅子を押し食堂まで行くが席が分らない。キョロキョロしている中、「この人はこの席だよ」と利用者の声。すごく嬉しかった。

お年寄りの力になろうと始めた仕事なのに・・・私が助けられている。それは今もあまり変わっていない。

私達の仕事は「これ！」という答えがない。人生の先輩達がいつも課題をくれる。それを皆で考える。また課題をくれる。それをまた皆で考える。それを繰り返しながらの毎日だ。良い援助が出来たときが喜びです。

素人だった私も利用者の笑顔と元気な声に支えられて、いつしかベテラン！の仲間入りどころか一番の古株だ。まだまだ勉強不足の私ではあるけれど、これからも入所者と、そして麻機園の職員と、共に支え合って頑張ります。

みんなの笑顔が見たいから・・・



入社当時

現在